



ナイスステップな研究者2020



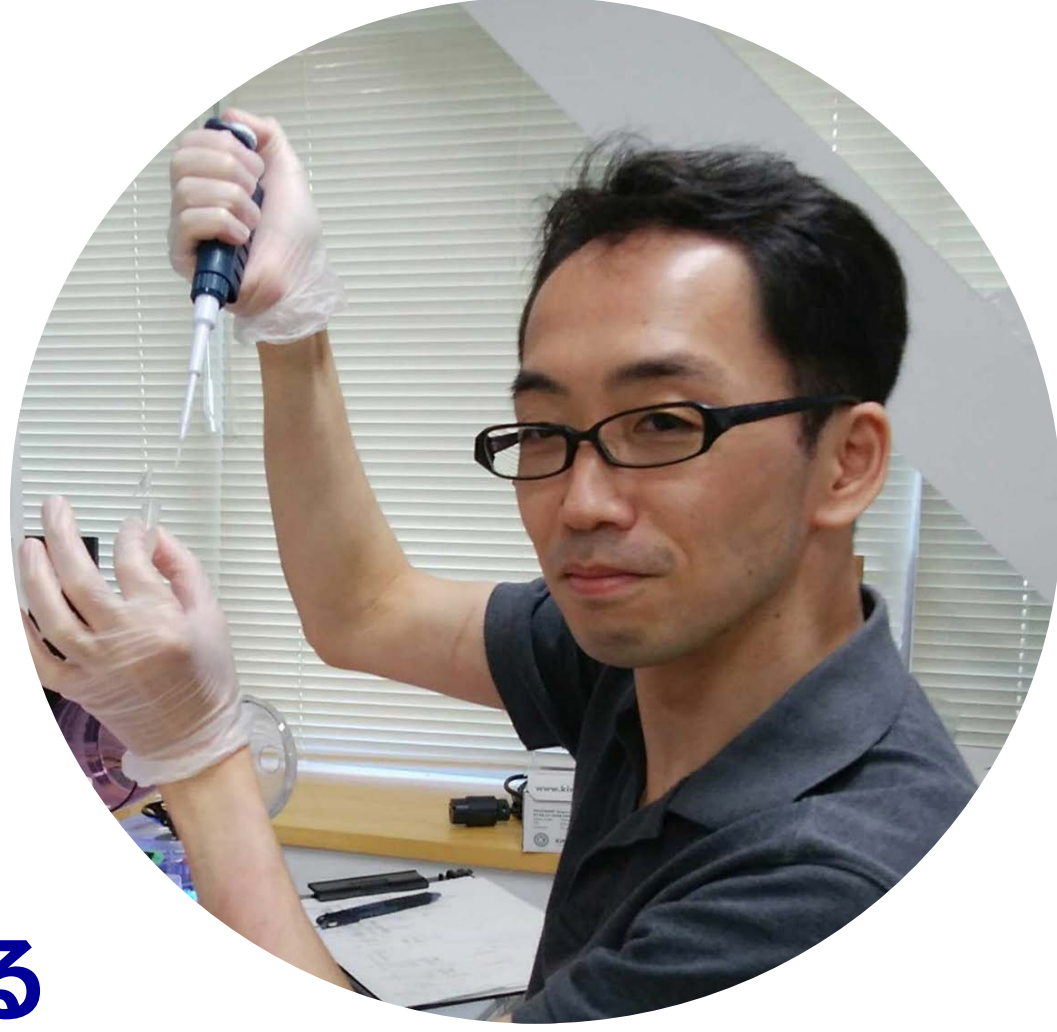
□ 文部科学省 科学技術・学術政策研究所では、科学技術イノベーションの様々な分野において活躍され、日本に元気を与えてくれる30～40代の若手研究者（平均年齢41歳）を中心に、令和2年12月15日に「ナイスステップな研究者」として選定しました。2005年から実施しており、今回で16回目です。

□ AI技術やデータサイエンスを駆使した医療・材料科学・化学などへの応用研究、自然科学と人文社会科学の融合研究、認知症の新たな診断法やSDGsに資する技術開発といった現代社会の課題に密接に関わる研究など多岐にわたる分野において、研究活動のみならず様々な形で国内外へ広く成果を還元されている方を選定しています。

(年齢・所属は令和2年12月15日時点)

市橋伯一 (42)

東京大学大学院 総合文化研究科・
先進科学研究機構・生物普遍性研究機構 教授



**世界で初めて試験管内で
分子進化を再構成する
実験系モデルを開発し、
生命の起源と進化の謎に迫る**

佐野幸恵 (42)

筑波大学 システム情報系 助教



**「物理」の視点で複雑な
「社会」を研究する：
SNSにおける情報拡散
パターンの解析**

沖部奈緒子 (46)

九州大学大学院 工学研究院地球資源
システム工学部門 資源処理・環境修復工学
研究室 准教授



**微生物の力を活用した金属
製錬法の開発
—バイオハイドロメタラジーによる
金属資源開発技術でサステイナ
ブルな社会創生を目指す—**

武田朱公 (43)

大阪大学大学院 医学系研究科
臨床遺伝子治療学 寄附講座准教授
大阪府立病院機構大阪精神医療センター
こころの科学リサーチセンター 認知症ユニット
リーダー



**世界初「目の動き」を利用した
簡便、正確かつストレスのない
認知機能検査法の開発
—認知症の早期診断へ—**

恐神貴行 (45)

日本アイ・ビー・エム株式会社
東京基礎研究所
シニア・テクニカル・スタッフ・メンバー



**生物の脳を再現した機械
学習の新技术開発
—確率的な環境における意思
決定技術に関する、科学への
貢献から産業応用まで—**

田中大輔 (40)

関西学院大学 理工学部化学科 准教授
国立研究開発法人科学技術振興機構
さきがけ研究者



**AI技術による革新的な
材料探索の実現
—無機物・有機物両方の
特性を持つエネルギー貯蔵・
変換材料を目指して—**

桂ゆかり (40)

国立研究開発法人 物質・材料研究機構
統合型材料開発・情報基盤部門 主任研究員
東京大学大学院 新領域創成科学研究科
特任助教
国立研究開発法人 理化学研究所 革新知能
統合研究センター 客員研究員



**論文から過去の実験データを集める
ことで大規模材料物性データベース
Starrydataを構築
—材料科学にデータ科学を取り入れた
マテリアルズ・インフォマティクスに貢献—**

藤井啓祐 (37)

大阪大学大学院 基礎工学研究科
システム創成専攻電子光科学領域 教授
大阪大学 先導的学際研究機構 量子情報・
量子生命研究センター 副センター長
特定国立研究開発法人理化学研究所
創発物性科学研究センター チームリーダー
株式会社QunaSys 最高技術顧問



**万能量子コンピュータ実現を目指
した、量子ソフトウェアの研究開発
で量子情報科学分野を先導**

鎌田雄一郎 (35)

カリフォルニア大学バークレー校 准教授
NTTリサーチ サイエンティスト



**ゲーム理論の理論研究と
制度設計への応用研究
—待機児童の解消など社会
課題の解決に効果的な
マーケットデザインの開発—**

山本陽一郎 (43)

特定国立研究開発法人理化学研究所
革新知能統合研究センター
目的指向基礎技術研究グループ
病理情報学チーム チームリーダー



**がん画像から、新たな知識
を自力で発見する医療AI
技術を開発 —がん再発
予測の画期的進化—**

Photo by Jim Block